

「高齢者の住まいの改善に向けて」ガイドブック編集

高齢者の住環境整備に関する情報提供ツールの作成業務

2011年度

財団法人 高齢者住宅財団

※ 平成23年度 厚生労働省 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業『福祉関係者に対する高齢者の住環境整備に関する情報提供に係る調査研究』の作業補助

業務概要

目的

「住み慣れた住まいで暮らし続けたい」という高齢者のニーズが多い中、介護保険制度による住宅改修に携わるなど、高齢者の安心・快適な住まいの環境づくりに大きな役割を担う「地域包括支援センターの相談員」や「ケアマネジャー」に向けて、住まいに関する相談対応に必要な建築的知識や情報を提供するためのツールを作成することを目的とする。

概要

センター相談員やケアマネジャーへのヒアリングを通じて、実際の相談対応の現場における課題や相談の際に必要な知識や情報について意見を伺った。その結果、高齢者の住まいの改善が円滑に行えるように、「住まいの改善や住宅改修に関する技術・プロセスを確認」でき、「相談者への説明や工業者と調整する際の参考資料」として活用できるためのガイドブックを作成した。

ガイドブックの概要

- 相談者の身体状況や住まいの状況、改善要望や目標などについて、相談に応じながら書き込みができるように「記録ノート形式」としている。
- 住宅内各部における改修時のポイントとして、目的に応じた改修項目を提示しているほか、具体的な改修内容については、図やイラストを用いて基本的な数値など「基本的な技術」を示している。
- 「工業者との調整」を行う際に必要となる、基本的な建築図面の読み方や工事費の見積りの取り方などについてわかりやすく説明している。
- 住まいの改善については、住宅改修のみならず、「住まい方の見直しなどの手法」を提示している。

① 住まいの改善に関する相談に対応する場合に活用できます。
・介護保険制度における住宅改修等の説明に利用できます。



② 相談者への説明や改善内容の提案に活用できます。
・イラストや写真を利用して説明することで、相談者の理解が深まります。



③ 工業者との調整の際に活用できます。
・保険者（区市町村）への提出書類の説明や工事内容の確認等に利用できます。



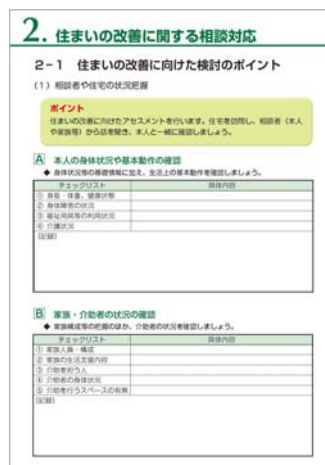
手法1 『住宅内の整理整頓』『家具配置の変更』『動作の安全確保』『寝室位置の変更』

手法2 『福祉用具の活用や介護サービスの利用』

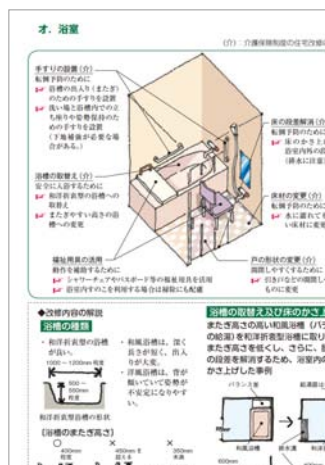
手法3 『住宅改修』（アプローチ、玄関、トイレ、浴室等の各部における改修ポイントを掲載）



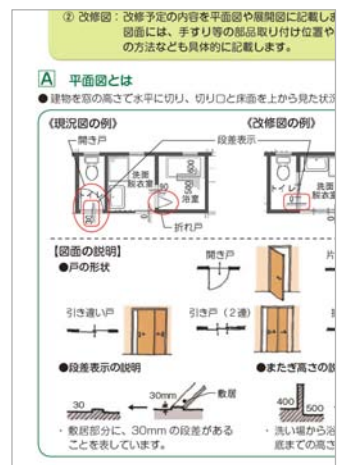
ガイドブックの表紙



相談者及び住まいの状況把握
〔記録ノート形式〕



住宅各部の改修のポイント
（部分）



図面の見方などの説明
（部分）